

(ア) ハードウェア関係 (iPad OS / Chrome OS 双方で見積を想定すること)

区分	説明	数量
端末	メーカー、デタッチャブル・コンバーチブル等の指定なし。一般家庭の電源プラグから充電できる付属品を備えること。 eSIM 機能を搭載し、5G または 4G 通信が可能であること。 Chrome OS の場合、Google 社の認定を受けた製品であること、端末の耐久性は MIL-STD-810H 準拠以上とし、120cm 以上の落下耐久が備わっていること、かつ画面にパームリジェクション機能が備わっているものとする。	46,849 台 予備機含む
タッチペン	必須であるが、端末内蔵型のものは不要。 静電容量式でパームリジェクション機能を備えているもの。	
キーボード付き 持ち運びケース	iPad のみ。 保護性能は MIL-STD-810H 準拠以上とし、トラックパッドを備えていること。端末との接続は Smart Connector での接続を前提とするが、保護回路を備え、直近 5 年での発煙・発火事故がない製品であれば USB Type-C 端子接続の製品も可とする。	
USB Type-C → 3.5mm ステレオミニ プラグ変換ケー ブル	iPad のみ。 持ち運びケース等にイヤホンジャックがない場合のみ計上すること。 3.5mm ステレオミニプラグ接続のイヤホン又はヘッドセットを使用可能とするオーディオ変換アダプタであること。	
MDM	Chrome OS の場合は Google GIGA License を適用。 iPad の場合は Jamf Pro を想定しているが、同等の運用が可能であれば提案も可とする。	

(イ) ソフトウェア関係

以下の製品について、全校で利用できる 5 年間のサービス使用料を積算すること。

区分	説明	数量
WEB フィルタリングソフト	URL 型のクラウドフィルタリングサービスを想定すること。	46,849 台 予備機含む
学習支援ツール	ダッシュボード機能、AI ドリル機能、CBT 機能、協働学習支援機能等を備えた統合型の ASP サービスを想定すること。本市で導入中のベネッセコーポレーション製「ミライシード」を想定しているが、同等の運用が可能であれば提案も可とする。ただし、必ずミライシードと提案を行うソフトウェアの機能差、それぞれの金額を算出すること。	
授業支援ツール	資料配布機能、児童生徒の画面モニタリング機能を備えるもの。本市で導入中のウィンバード製「Win Bird」を想定しているが、同等の運用が可能であれば提案も可とする。iPad OS では代替可能なソフトウェアを提案すること。	
学習 e ポータル	文科省が運用する公的 CBT プラットフォーム（MEXCBT）へアクセスする機能を持ち、学習の窓口機能、連携ハブ機能を備えるもの。本市で導入中のものは内田洋行製「L-gate」（無償版）だが、より有用な運用に資するものであれば有償版、または他製品でも提案可能とする。	
健康観察・教育相談ツール	児童生徒の心身の異変を早期に察知するための機能を持つこと。またその結果を特定の教員間で共有し、組織的な見守りを推進する機能を持つこと。	

(ウ) 通信料

以下の要件で、予備機含む 46,849 台分の 5 年間の通信料を積算すること。

区分	説明
容量	月間利用可能通信容量は 20GB のプランとし、前月分の残容量を繰り越しもしくは同月分の余剰通信可能容量を個別に振り分けすることができ、容量を超えた場合でも課金されることなく低速で動作すること。
制限	3 日間で 5GB 程度の、短期間で一時的に大量のデータ通信を利用した場合でも通信速度が制限されないこと。また、海外での通信利用を制限すること。

設備	導入対象校において電波調査を行い、通信状況が悪い箇所がある場合は現地調査の上、その説明と改善措置を行うこと。
監視	インターネット環境上で、通信回線ごとの利用明細・内訳書、利用日等の統計情報を閲覧・集計できること。また、通信量の監視、アラート通知により極端な通信利用を可視化できるサービスを付加すること。
通信料	通信料は5年間同額とし、通信利用にかかる初期費用、月額利用料（データ通信料、ISP 利用料、ユニバーサルサービス料等）、故障や紛失に伴う eSIM 再発行手数料は通信料に含むこと。
緊急時対応	通信提供者が大規模災害発生時において通信確保のための体制、設備を有すること。

(エ) 運用・保守

以下の要件で5年間の費用を積算すること

区分	説明
運用業務	月 500 件程度の質問対応を想定したコールセンター等で学習者用端末に関する問合せを一元的に集約する体制を整備することを想定し、そのほか修理対応、ハードウェア・ソフトウェア・通信等の種類を問わない運用管理（定例会、OS アップデート、転出入対応（端末・アカウント管理）等）、教職員に対する端末活用研修（年 5 回程度の教育センター現地での集合研修を想定）、年次更新、予備機管理を行うこと。 アカウント管理は iPad OS / Chrome OS 問わず、本市で現在使用中の Google Workspace for Education (Education Fundamentals) を基本として想定すること。ただし、Chrome OS の場合は Google GIGA License での運用を想定するものとする。
端末保証	メーカーによる延長保証等を基本とし、修理回数や金額の上限のない保険会社等の保証サービスを付保すること（稼働品を提供者で担保できる場合はメーカーによる保証に限らない）。 iPad の場合はキーボード付き持ち運びケースは保証範囲とし、変換ケーブルは保証範囲外とすること。 充電ケーブル等の付属品、タッチペンについては保証範囲外とする。 OS によって保証範囲や内容に差がある場合、その要件を提示すること。

(オ) 初期構築・キッティング

現行環境の Google Workspace for Education で管理をすることを基本としつつ、プロジェクト管理、要件定義、各種設計、各種キッティング（端末・アカウント）、現地展

開（各学校に指定する集積場所（1 階）に配送すること）等に加え、キッティングについてはキッティングの仕様や条件を別途提示（様式は自由とする）すること。また、（イ）ソフトウェアで新規提案がある場合は現行環境からの移行費用も積算すること。

（カ）データ消去・端末回収

リース期間終了後の端末については、内蔵する記憶媒体（SSD、eMMC 等）に保存された全てのデータ（OS 等からのアクセスが不可能な領域も含む）領域について、データ消去装置又はデータ消去ソフトウェア（OS 標準機能のものでも可）による上書き消去、ブロック消去、暗号化消去のうちいずれかの方法で行う又は物理破壊により実施するものとし、作業完了後は端末ごとのシリアル番号等を記載したデータ消去証明書を提出すること。端末回収については各学校で指定する集積場所（1 階を想定）から端末を回収することを想定し、計上すること。データ消去後の端末については適法に処分すること。